

お客様・パートナー様各位

fusion_place 3.1

リリースのご案内

2014年12月8日
株式会社フュージョンズ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。
本日、fusion_place の新バージョン「3.1」をリリース致しましたことのお知らせ申し上げます。

記

1. リリースの位置づけ

本リリースは、一般向きリリースです。

2. ご提供方法

弊社（contact@fusions.co.jp）にお問い合わせください。お試しにご利用になる場合は、試用ページ（<http://www.fusions.co.jp/products/trial/>）からインストーラをダウンロード頂けます。試用許諾条件・使用許諾条件とも、旧バージョンから変更ありません。既存のバージョンからのアップデートは大変簡単です。弊社担当にご相談下さい。

3. 主な機能改善点

- ① エンタープライズ及びワークフロータイプのアプリケーションにおいて、部署の種類に応じて、利用できるフォームリスト及びそのフォームリストでの入力可否を制限できるようにしました。具体的には、業務責任単位（＝部署）に対して割り当てられるアクセス許可タイプ（＝部署の種類）とフォームリストの組合せを「フォームリスト使用権限表」に登録することにより、各業務責任単位の担当者が、fusion_place ブラウザ及びコントリビュータ「照会／帳票」タブで選択可能なフォームリストが限定されます。#109
- ② ワークグループタイプのアプリケーションにおいても、元帳オープン／クローズ機能（締め機能）を使用できるようにしました。従来通り使用しないことも出来ます。

加えて、従来から元帳オープン/クローズ機能を使用できた、エンタープライズ及びワークフロータイプのアプリケーションにおいて、元帳オープン/クローズ機能を抑制できるようにしました。フォームの動作確認などの際に便利です。#271

- ③ Java 8 に正式対応しました。fusion_place の従来のバージョンを Java 8 で動作させると、些少ですが不具合が生じます（「不要データの整理」を実行するとエラーとなります）ので、Java 8 をお使いの場合は、当バージョンに移行されることをお勧めします。#267

4. インストール方法

（クラウドでご利用の場合、インストールは必要ありません。）

インストール手続き自体は旧バージョン(3.0 以前) と変わりませんが、インストールの前に、旧バージョンでお使いのデータベースをバックアップするとともに旧版のソフトウェアをアンインストールして頂く必要があります。詳細は、本リリースのインストーラに同梱されているユーザマニュアル(fusionplace-usermanual.chm) の以下の項目をご参照下さい：

「fusion_place をセットアップする」

> 「02. セットアップ手続き」

> 「04. fusion_place をバージョンアップする際の手続き」

また、インストール後、ユーザが fusion_place にログインする最初のタイミングで、データベースが最新のレイアウトに移行されます。移行処理は完全に自動的に行われますので、ユーザが手を煩わせる必要はありませんが、以下の点にご留意下さい。

(ア) データベースに含まれるデータ量が大きい場合、移行処理に数分かかることがあります。

(イ) 移行されたデータベースファイル群を、もとのバージョンで使用できるレイアウトに戻すことはできません。

以上